

スモール & ビューティフル： スイス・デザインの現在



休館日／火曜日 1月10日(火)は開館 冬期休館日 2005年12月24日(土)～2006年1月9日(月)

<http://www.joshihi.ac.jp>

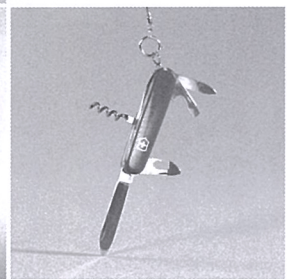
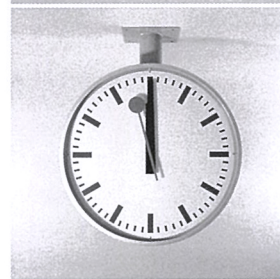
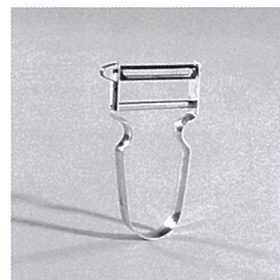


スモール & ビューティフル: スイス・デザインの現在

2005年12月7日(水)～2006年2月20日(月)

休館日/火曜日 1月10日(火)は開館 冬期休館日 2005年12月24日(土)～2006年1月9日(月)

small



beautiful design from Switzerland

展覧会の背景

統計によれば、日本人がもっとも好感を抱く国はスイスであるそうです。アルプスを擁し、美しい自然と牧歌的な風景、永世中立を是とする平和国家、時計やチョコレートの小気味よいデザインなど、日本人が描いてきた理想的なライフスタイルと共鳴する部分が多いからだといわれています。

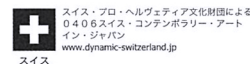
小さいながらも美しい国スイスは、長い時間をかけて、平地の少ない険しい国土で豊かに暮らすことを追求してきました。人間に密着した優れたデザインと技術が根付いており、道路、橋梁、景観、建築、核シェルターなどのインフラの上に、細やかな生活デザインが展開しています。さらにはパッケージやグラフィック・デザインに至るまで、徹底してモダニズムを追及し、今やスイスは国土のいたるところで雄大な風景の中にシャープなモダンデザインが展開する、世界でも稀な国となっています。

本展覧会は、こうしたスイスの現代デザインを広く紹介するために制作され、東京展を皮切りに日本各地を巡回するものです。この機会に「小さく豊かに生きる知恵」を実践するスイスの現代デザインに触れていただければ幸いです。

- | | |
|---|--|
| 1 | 1『レックス』ピーラー(皮むき) / アルフレッド・ニューツェル / ツェーナ社 / 1947 |
| 2 | 2『F11 ラッシー』(リサイクルメッセンジャーバッグS) / マーカス・フライターグ、ダニエル・フライターグ / フライターグ社 / 1995 |
| 3 | 3 スイス国鉄(SBB)のステーションクロック / ハンス・フィルフィカー / モンデン社 / 1955 |
| 4 | 4 スイス・アーミー・ナイフ / カール・エルズナー / ビクトリノックス社 / 1980 |
| 5 | 5『ランディ・チェア スペルタナ』 / ハンス・コライ / ザノッタ(初号) / 1939 |

展示内容

アートワーク、装飾品、工業デザイン、グラフィック・デザイン、ブック・デザインなど、既に確立されたスイス・デザインの分野に加えて、今日の若手デザイナーによる新作ファッション、テキスタイル、家具などが含まれ、生活に密着したデザインのあり方を具体的に示します。スウォッチの時計、ビクトリノックスのナイフ、フライターグのバッグなど、日本人に親しみのあるグッズを始めとする400点余りの展示品が、女子美アートミュージアムの中に散りばめられ、訪れた方々に満足していただけることでしょう。



女子美アートミュージアム

相模原市麻溝台1900

女子美術大学10号館1階

042-778-6801(直)

交通: 小田急線相模大野より

神奈川中央交通バス3番乗場

女子美術大学行き

終点下車(約20分)

女子美術大学ウェブサイト

<http://www.joshi.ac.jp>

会場 女子美アートミュージアム
主催 女子美術大学美術館
慶應義塾大学デザイン・ミュージアム・ファクトリー・コンソーシアム
スويس・プロ・ヘルヴェティア文化財団
制作 ホッホ・パルテール(スイス) レ・フォルム(スイス)
協賛 スウォッチ・グループ・ジャパン株式会社 スウォッチ事業部
ビクトリノックス・ジャパン株式会社
USMウルリッヒ・シェラー・ゾーネAG
協力 株式会社インターオフィス フライターグAG ジック・ジャパン株式会社
三洋ティーアンドエス株式会社
後援 スイス大使館 相模原市 相模原市教育委員会
神奈川新聞社 社団法人日本インダストリアルデザイナー協会
休館日 毎週火曜日(1月10日は開館) 平成17年12月24日(土)～平成18年1月9日(月)
開館時間 10:00-17:00 (入場は16:30まで)
入館料 一般 300円 (学生 未就学児 65歳以上 身体障害者手帳をお持ちの方は無料)

